

いま、この女性が輝いている

武田星子の

ステキ★塾女発見!

Vol.3

自分の人生、自分で生きななきゃ!

株式会社名学館 直営校舎事業部 取締役部長

小野田 暁子(愛知県)



こんにちは! 塾女研究会の武田星子です。今回ご紹介するのは、愛知県は名学館の小野田暁子先生。なんと入社5年目にして取締役就任という、異例のスピード昇進を果たしたシンデレラ塾女です。そもそも名学館さんは、決して小規模な塾企業ではありませんから、その取締役が20代女性だと聞いたときは私も本当に驚きました。しかも、フツーに新卒入社を経て、確かな実績を積んで堂々とここまで駆け上がったというから二度ビックリ。いったい、どんな女性なの!? ステキすぎるサクセスストーリーに触れて勇気をもらおうと、はりきって会いに行っていました♪

Profile

出身	東京都
業界歴	7年
経歴	アシスタント→教室長→課長→取締役部長
趣味・マイブーム	寒さ対策
Favorite Time	お風呂
尊敬する女性	高校時の恩師
好きな言葉	為せば成る

何もせずには逃げるのって悔しいから

現在二八歳で取締役、本当にスゴイですね! 就任はいつからですか? ええと……確か二年前の終わりごろだったようなあれ? 違ったかな? ええっ、そんな感覚なんですか!? てっきり、ギリギリした上昇志向の強い女性を想像していました。

すみません、こんな感じですよ(笑)。小学生のころから学級委員とかにもあんまり興味がなくて。もともと「上へ、上へ!」みたいな欲も薄いほうでしたし。では、ご自身では何が評価されて取締役にされたのだと思われませんか? 確かに多少の現場実績は残してきたかもしれませんが、でもその基本にあった愛社精神は大きいと思います。

みんな、仕事で続けられる工夫をしようよ!

この若さで取締役に大抜擢されることに不安はなかったんですか?

不安だらけでしたし、やりにくさもありました。だって、この間まで募っていた先輩に命令したり叱ったりしないといけないんですよ? でも、任せられたからにはそんなこと言っちゃいけない。義務感が私を動かしていたように思います。——残念なことに、その「義務感」に欠ける人もいるんですよえ……

そうそう! 早々に辞めて行った同期を見て、「何だかなあ……」と感ずいた事はありません。辞める理由が、楽な方へ流



武田 星子(たけだ しょうこ)

「塾女研究会」発起人。(株) WiShip 取締役、学印個別&個別塾塾長。生徒や保護者の心を瞬時に掴んで離さず、1教場300名超の生徒を集めた現役塾女でもある。「塾業界の女性がもっと輝きながら働けるように」との願いを込め、塾女研究会を立ち上げた。

塾女研究会からのお知らせ

第3回塾女研究会(勉強会)開催します!

2013年4月21日(日) 予定

今回は2部構成のスペシャル回! いつもは男子禁制のこの集いも、ついに特別解禁!? 塾女も塾メンも、ふるってご参加ください!

詳細 <http://www.wiship.jp/jukujo/>

塾女研究会

検索



後輩塾女にとっても、頼れる上司です!

れた結果のものが多くて。「合コンに行けないから」っていうのもありましたから(笑)。ワークライフバランスなんて言葉もありますけど、社会人としてまだ何も身に

ついてないのに、バランスも何もないですよ。私は、プライベートと仕事を分けないほうがいいと思ってるんです。その発想が仕事を「辛いもの」にしてしまうような気がして。——一方で頑張り屋さんの塾女もたくさんいます。彼女たちはどうしたら「上」に行けると思いますか? まだまだ言えた立場じゃないですけど、やっぱり結果を出すことじゃないでしょうか。でも、数字だけを追っっちゃダメだと思うんです。いま、目の前の生徒のた

めにどれだけ真剣になれるか、それが大事です。そうすれば、結果はついてくるはずなんです。——最後に、仕事で何らかの辛さや悩みを抱えている塾女にも、ステキなエールをいただけませんか! 「辞めないで」って伝えたいです。確かに、つい制度や環境のせいにしたくなることもあると思います。でもそれより、辞めずに続けられるような工夫をみんなですべて行きましようよ! 自分の人生なんだから、自分で生きて行きたいですね!

実は私、就活時には塾業界に偏見すらあったんですよ。「成績上げて儲かりさえすればいいんでしょ?」って。けれど会社説明会で、弊社社長・佐藤の教育への思いにガツンとやられました。「どんな子も助けたい」「人は人で変わるんだ」との言葉に胸が熱くなって。——確かに、自分の会社やそのリーダーを誇りに思えるコトって大事ですよ! ええ。あつ、あと、私が負けず嫌いだったこともあるとは思いますが! ——「同期に負けたくない!」「みたくない?」

いえ、人との比較や対抗心はありませんでした。自分の勝負ですね。今まで何度も「辞めたい」と思った事がありましたし、社長からも「辞めてしまえ!」と叱咤されることもありましたが、でも、だから逃げるのは悔しい。見返してやりた